

2024 すいせん図書

～本の森へ～

中学生

西東京市図書館





リストに掲載された本は
貸出・予約することができます

「秋」

かこさとし 文・絵／講談社

作者のかこさとしさんは、秋が大好きだったそうです。でも、昭和19年、日本とアメリカがはげしい戦争をしていたとき、すてきな秋をとてもきらいになったそうです。そのころ、作者は高校生でしたが、兵器をつくる工場ではたらいしていました。ある日、盲腸炎になった作者を手術してくれた先生にも、軍隊から戦争へいけと命令がきました。戦争を憎み、平和を願ったかこさとしさんの思いが伝わる絵本です。



「すき、好き、スキ。」

イノウエミホコ 作 ふうき 絵／文研出版

フトはミニバスケットクラブに所属する小六の女子。憧れの先輩翔也くんのファンクラブを立ち上げ、同じチームの男子胡汰と推し友になりました。

ある日、怒った顔の胡汰からオレの好きはフトと一緒にじゃダメなんだと言われます。『すき』『スキ』って書き方があるように、『好き』にはいろんな種類があると気付かされる物語です。



「手で見るぼくの世界は」

榎崎茜 作 酒井以 装画・挿絵／くもん出版

視覚支援学校に通う佑と双葉は、四月から中学生。しかし双葉は春休みに起こった事件をきっかけに、家から出られなくなってしまった。学校を休みつづけ、音信不通になった双葉を心配する佑。双葉は佑にとって、はじめてできた目が見えない友だちだった。佑は双葉に会いに行くことを目標に、白杖を使った歩行訓練にはげむ。

未来に踏み出していく佑と双葉の物語。



「夜空にひらく」

いとうみく 著/アリス館

暴力事件を起こし試験観察処分となった鳴海円人^{なるみえんと}17歳。試験観察とは、一定期間生活の場を移し、改めて処分を決めるというもの。円人の受け入れ先は、煙火店^{えんわてん}を営む家だった。自分の仕事^{ほご}に誇りを持つ花火師たちがまぶしくて、目をそらしていた円人に18歳の誕生日プレゼントとして贈られたのは、大輪^{たいりん}の打ち上げ花火だった。

主人公が自分の居場所を見つけるさわやかな成長物語。



「飛べないハトを見つけた日から」

クリス・ダレーシー 作 相良倫子 訳 東郷なりさ 絵/徳間書店

友人のギャラリーと公園で遊んでいたダリルは、翼が折れて飛べなくなった一羽のハトを見つけた。それは脚にリングをつけたレースハトだったので、ハトに詳しいダッキンズさんを訪ねたが、彼は飛べなくなったハトに価値はないと言った。それなら自分がハトを飼育しようと決心したが、そこには様々な困難が待ち受けていた。

ハトの飼育を通して成長する少年の姿を描いた物語。



「最後の語り部」

ドナ・バーバ・ヒグエラ 著 杉田七重 訳/東京創元社

2061年、地球が破壊されることが判明し、新しい惑星に移住するプロジェクトが発足した。語り部になることを夢見る少女・ペトラは、目的地を目指す船内で眠りについた。しかし、長い眠りから覚めると、彼女以外の乗客は地球での記憶をすべて消去されてしまっていた。

恐ろしい計画をたくらむ大人たちへ物語を武器に戦いを挑む、勇敢な少女の姿を描いた物語。



「チョコレートパイは、なぜ1個目がいちばんおいしいのか？」 —韓国最強の「実験経済部」の生徒が学ぶ 中学生でもわかる経済のはなし—

キム・ナヨン 著 イ・インピョ 監修 チョン・ジニョム イラスト 吉原育子 訳/サンマーク出版

韓国の中学校の社会科教師の著者が、「実験経済部」で行った授業がそのまま収録されています。

「実験経済部」の教室は美術品のオークション会場になったり、中古車販売市場になったりして実践的な授業が行われます。

中学生たちと一緒に経済学の理論と数学の概念を楽しみながら身につけて、「ホームズ」のように世の中を読み解く力を養ってみませんか。



「おしえてジェンダー！『女の子だから』のない世界へ

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 編/合同出版

みなさんは、「女の子だから」「男の子だから」と言われ、がまんしてきたことはありませんか？

ジェンダーとは、性別を理由にしてみんなをしぼってきた役割やきまりごとのこと。

この本は「ジェンダー」について、マンガを交えてわかりやすく解説しています。

ジェンダー平等の社会について考えてみませんか。



「たった3分間のすごい世界—美しい写真でたどる科学の教養—」

大崎章弘 監修/えほんの杜

私たちの世界には、なぜか3分間という時間の単位が溢れています。1分では短く5分では長い。「3分間」は人間にとってちょうどいい時間？この本では、「世界では3分間で何人生まれ、何人死ぬのか」「最新鋭の寿司ロボットは3分間でどれくらいの寿司を握れるのか」「竹は3分間でどのくらい伸びるのか」など、世界の様々な出来事を3分で切り取り、その可能性に迫ります。写真も多く読みやすい本です。

